

## 「ワシとカラス」

2026・5・29 校長 重枝一郎

人は何かに取り組んでいる時、今やっていること以外のことを40%考えていると言います。40%も？そうかな？しかし、今やっていることについて、本気なのかそうでないのか、好きなことなのかそうでないのか、主体的なのかやらされているのか、自分のためなのか誰かのためなのか、計画的なのか思いつきなのか、様々なケースがあって、それによっていろんな思考・感情になると思います。そのことから、なんとなく40%ということにも納得できます。

この40%で確実に起こるデメリットは、「幸せにつながらない」ということです。「幸せ」とは、大切なことをしているということではなく、大切なことを大切にしているということになるからです。つまり、目の前のことに集中することは、自身の「幸せ」につながります。

目の前のことに集中するという事は、意外とできていないのかもしれませんが。学校は、言うまでもなくいろんなことが起こる場所です。そういう大変な場所で、必死に食らい付くことを「努力」と言います。そして気づけば何となくでも適応しているのが「成長」です。みなさんの日常は、次々にいろんなことに出会います。目の前のことに集中せずに、あれやこれやと迷走していることがあるかもしれません。私は皆さんに、力強く言いたい。「目の前のことに集中！」。それが「努力」になり、いつの間にか「成長」し、「幸せ」になると思います。

「集中」できない場合にありがちなこととして、人間関係が影響していることがあります。好きな人と一緒に何か取り組む時は、安心して集中できたりするのですが、嫌いな人と一緒に何かに取り組む時は、結構その人のことを考えて、それこそ40%以上取り組んでいること以外のことを考えているかもしれません。

私が思う、人間的に嫌われる人の特徴として、「すぐ怒鳴る」、「不機嫌で支配する」、「謝れない」があります。こういう人ってなかなか変わりません。じゃあどうする？実は、あなたのメンタルの強さ・弱さが関係してきます。

メンタルが弱い人は、変えられないものに執着する傾向があります。逆に、メンタルの強い人は、変えられないものは無視することができます。嫌われる人の特徴で話した「すぐ怒鳴る人って、本当は不安な人」、「不機嫌で支配する人って、本当は怖がりな人」、「謝れない人って、本当は傷つきやすい人」という考え方ができます。これは人の研究でもわかっています。そう思って、嫌いな人にあまり執着しないのがいいと思います。

「ワシとカラス」の話を聞いたことがありますか。ワシはカラスから背中を突かれたりして、ちょっかいをかけられても、まともに戦わず、ただ静かに上昇します。これは嫌いな人の対応に役立つ行動です。この上昇を成長と置きかえてみてください。

嫌いな人と出会ったら、自分の成長だけ考えて、ワシのように上昇し、相手にしないことが大切です。そうすれば、ほっといても必ず目の前から消えていきます。逆に、優しい人は、ほっといてもそばにいてくれるから、もっと大切にしたい方がいいと思います。

お祈りをします

主なる神様

いつも生徒たちを守っていただいていることに感謝します

本年度のパワーワードである「One&Only」の実現に向けて、生徒一人一人が、目の前に集中できるよう導いてください。

そのために、常にそばにいて、その時々にはさわしい知恵と勇気をお与えください

この願いを主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします

アーメン